

第14期出展技術発表会【令和元年度】(案)

R元年6月修正版

	日目	出展者名	小間番号	技術名	技術講演(案)	
第7回 4月25、26日 【関技】 施工システム・マ ネジメント	1日目	一般社団法人日本測量機器工業会	A1-1	i-Constructionの生産性向上のための技術	「平成31年度国土交通省におけるICT 施工技術への取組」 企画部 施工企画課 金澤哲也補佐	
		西尾レントオール株式会社	A1-6	ICT施工機械及びその遠隔操作技術		
		株式会社安藤・間	A1-2	i-Constructionを支えるICT施工技術		
		株式会社NIPPO	A1-3	N-PNext		
	2日目	前田道路株式会社	A1-4	①かんたん情報化施工 ②道路包括管理システム		「関東地方整備局における新技術 (NETIS)の活用」 企画部 施工企画課 宮本雄一補佐
		日本道路株式会社	A1-5	ICT技術を用いた生産性向上に関する技術		
		コマツカスタマーサポート株式会社	C-1	スマートコンストラクション		
		一般社団法人日本建設機械施工協会	C-2	建設生産システムの生産性向上にむけた協会の取組		
第8回 6月6、7日 【関技】 測量・設計技術、 施工機械	1日目	株式会社トプコンソキアポジショニングジャパン	A2-2	3次元測量システム	「今後のICT施工技術の工種拡大に伴 い必要とされる技術について」 企画部 施工企画課 金澤哲也補佐	
		株式会社ジェノバ	A2-1	高密度ネットワーク型RTK-GNSS配信サービス		
		福井コンピュータ株式会社	A3-1	①3次元点群処理ソフトTREND-POINT ②3D-CADシステム TREND-CORE		
		日立建機日本株式会社	A5-1	Solution Linkage(ソリューション リンケージ)		
	2日目	大成建設株式会社	A5-2	建設生産システムの省力化・効率化		「今後のICT施工技術の工種拡大に伴 い必要とされる技術について」 企画部 施工企画課 金澤哲也補佐
		株式会社カナモト	A9-3	自動追尾型トータルステーションを利用した機械施工の効率化		
		日本キャタピラー合同会社	A5-4	日本キャタピラーのアップグレードソリューション		
		ユナイテ株式会社	A4-2	舗装工事におけるマシンコントロールシステム		
第9回 7月11、12日 【関技】 施工技術 (二次製品施工)	1日目	ゴトウコンクリート株式会社 ※A7-4と統合?	A8-6	都市型側溝 シェイプアップスリット	「コンクリートの規格の標準化等の取組 について」 企画部 技術管理課	
		マルチレベル工法・マルチ搬送(横引)工法研究会	A7-1	マルチレベル工法・マルチ搬送(横引)工法		
		オープンシールド協会	A7-2	オープンシールド工法		
		株式会社ガイアート	A7-3	延長床板システムプレキャスト工法		
	2日目	ゴトウコンクリート株式会社 ※A8-6と統合?	A7-4	ディンプル	「関東地方整備局における老朽化対策 の取り組み」 道路部 道路管理課	
		W2R工法協会	A8-7	W2R工法		
		東亜グラウト工業株式会社	B-1	TFバリア		
		アンダーパス技術協会	B-2	①SFT工法・R&C工法 ②フロンテジャッキング工法・ESA工法		
前田建設工業株式会社	B-3	PRISM(プリズム)工法				
	第10回 8月29、30日 【局】 施工技術 (地盤改良等)	1日目	株式会社技研製作所	A7-9	PPTS自動運転	「関東地方整備局における平成30年度 の入札・契約、総合評価(工事)の実施 方針について」 企画部 技術調査課
			ライト工業株式会社	A7-10	3D-ViMaシステム	
			パワーブレンダー工法協会	A7-5	パワーブレンダー工法	
株式会社大阪防水建設社			A7-6	OB-SHARE		
2日目	CDM研究会	A7-7	CDM工法におけるICT活用技術	「関東地方整備局における平成30年度 の入札・契約、総合評価(業務)の実施 方針について」 企画部 技術管理課		
	ケミカルグラウト株式会社	A7-8	ICECRETE工法			
	株式会社アクティオ	A6-3	超高速凝集沈殿装置			
	第11回 10月3、4日 【関技】 施工技術 (維持管理・災害 対応)	1日目	東亜グラウト工業株式会社		A8-1	スマートボール工法
大林道路株式会社			A8-4	RIM(マルチ測定車)		
前田工織株式会社			A8-2	ICT技術と連携する補強土壁		
株式会社ケー・エフ・シー			A4-3	①スマートジャッキ ②トルシアナット		
2日目	一般社団法人IPH工法協会	A8-5	IPH工法(内圧充填接合補強)	「無人化施工・建設ロボットの現状と今 後の動向について」 土木研究所		
	建設無人化施工協会・建設無線協会	A9-1	無人化施工技術			
	次世代無人化施工技術研究組合	A9-2	無人化施工に関する新技術の研究開発			
	株式会社カナモト	A5-3	人型ロボットによる建設機械操縦効率化			
第12回 12月5、6日 【局】 施工技術 (管理システム・ 計測)	1日目	東亜建設工業株式会社	A4-1	①水中可視化システム「Beluga-AR」②自律航行型測深システム「自動ペルーガ」	13:00~14:00 「弾性波を用いた非破壊検査の最新技 術」 京都大学	
		ユナイテ株式会社	A5-5	アスファルト舗装密度測定器「ペイブトラック」		
		西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	A8-3	①Jシステム(赤外線トータルサポートシステム)②イーグル(道路性状測定車)		
		株式会社マルイ	A4-4	キャスポル		
	2日目	五洋建設株式会社/ワム・システム・デザイン株式会社/日精株式会社	A6-1	Color Gate System ~動作管理システム~	「ETC2.0の活用について」 道路部 交通対策課	
		五洋建設株式会社/古野電気株式会社	A6-5	ETCによる車両事故防止&運行管理システム		
		株式会社レント	A6-2	バッテリー再生技術を用いた保有蓄電池の運用期限管理		
		株式会社アクティオ	A6-4	プレミアムモジュールファン		

第14期建設技術展示館(後期)技術講習会開催計画

R1.9.3

技術講習会名	講習内容(予定)	開催時期	定員
ICT施工技術講習会(土工)	i-Constructionにこれから関わっていこうとする地方の施工者や自治体関係者を対象とした生産性向上に関わる体験講習。 【講習内容】 ・3D計測及びデータ処理等体験 ・ICT建機施工体験	7月10日 茨城県行方市 9月13日 埼玉県秩父市 12月17日 千葉県市原市	各30名
i-Construction実技講習会	測量者・施工管理者・現場代理人を対象としてi-Constructionの技術伝達を行う。	年4回開催予定	各20名
非破壊調査に関する講習会・コンクリート構造物の長寿命化に関する講習会	【非破壊調査に関する講習会】 Jシステム 赤外線サーモグラフィ法により、コンクリート表面の浮き剥離を検出する技術の講習ほか。 【コンクリート構造物の長寿命化に関する講習会】 コンクリート構造物の長寿命化を目的としたIPH工法の補修、補強の効果について講習。 当工法の開発者によるコンクリート構造物の長寿命化事例報告 学識経験者によるコンクリート構造物の長寿命化に関する講習 非破壊による品質管理手法の講習	6月13日 11月14日 建設技術展示館	各100名
小規模土工に活用可能なi-Construction施工セミナー	今後増加していく小規模なICT施工において、より生産性を高める事を可能にする講習。 【講習内容】 小規模土工におけるi-Con施工の課題/2D&3D併用による施工効率改善 【デモンストレーション】 3Dミニ油圧ショベル/2D&3D油圧ショベル/小型ブルドーザ 【試乗】 各種	7月19日 埼玉県秩父市	50名
ICT施工技術活用講習会	現場を再現したデモンストレーションと、ICT建機の試乗。	10月24日 千葉県千葉市	40名
日立建機ICTデモサイト見学会	ICT建設機械を実際に体験可能なICTデモサイトにて、「見る」「触れる」講習。	11月5日 茨城県ひたちなか市	60名
建設現場の車両および作業員の入退場管理システムについての現場見学会	「ETCによる車両事故防止&運行管理システム」の現場見学会時に、車両管理と併せて人の管理システムとして、「Color Gate System～動作管理システム～」のプレゼンおよび実機デモを行う。	10月11日 千葉県	20名
オープンシールド工法 施工技術講習会	【講習内容】 オープンシールド工法について オープンシールド工法の施工効率化(ICT)技術の取組み 施工現場報告(2～3現場程度) 特殊条件下での施工事例(オープンシールドNOSⅢ型覆工桁工法、埋設管下越し施工、等)	11月19日 建設技術展示館	60名
非開削による立体交差施工技術 講習会	非開削による立体交差施工技術(SFT工法、R&C工法、フロンテジャッキング工法、ESA工法)を、土木関係技術者の方々に広く知っていただくため、概要説明および、現場紹介。	11月21日 TKP東京駅大手町 カンファレンスセンター	100名
無人化施工機械技術の講習会	災害現場などで、二次災害の危険が及ぶ恐れがある場合に使用する「無人化施工技術」に関する操作訓練を含む講習。 【講習内容】 無人化施工技術の概論 無線式バックホウの操作訓練	1月～2月開催予定 関東技術事務所 船橋防災センター	30名程度